

すこやか北星



ほんじてってい 凡事徹底 ~当たり前のことを徹底して行う~

当たり前のことを徹底して行うという意味の「凡事徹底」という言葉があります。この言葉には、当たり前のことができているかどうかは、物事の本質にかかわる重要な問題だという意味が含まれています。

経営の神様と言われたパナソニック創業者の松下幸之助氏は、取引先企業の経営がうまくいっているかどうかをすぐ見抜いたと言われます。その判断基準は、

- 1 元気でさわやかなあいさつ
- 2 キッチリとした整理整頓
- 3 掃除のゆきとどいたトイレ です。

この3つを見れば、会社の様子がおおよそ分かったそうです。

社員のあいさつがしっかりでき、机上也きれいに片付いており、トイレも美しく掃除されている会社は業績が良く、社員のあいさつがよくできず、机上が乱雑で、倉庫の整理整頓ができていない会社は、会社全体のマネジメントもルーズであり、業績もよくないということです。

まさに、当たり前のことがきちんとできているかどうかで、判断したわけです。

あいさつを交わすことでコミュニケーションが広がり、整理整頓することで能率も上がります。また、トイレを美しくすることは、心磨きにつながります。

つまり、逆に考えると、このような簡単なことさえできない個人や組織は、当然、難しいことはできず、何事もいい加減になるという訳です。

これは会社だけではなく、学校にも家庭にも個人にもあてはまります。当たり前のことをしっかりやるということを心がけていきたいものです。

- あいさつや整理整頓、掃除など「たいしたことではない。やろうと思えばいつでもできる。」という考え方は、何事もいい加減にさせる。
- 「ありがとう」「すみません」と素直に言う、時間に遅れない、約束は守る、などといった簡単なこと、当たり前のことをしっかりやり続けることが大切である。

5・6年生136名 交通安全鼓笛パレード 堂々の演奏

25日(水)本校の校庭で須賀川市内の小学校16校1,299名が一堂に会し「平成28年度第45回交通安全鼓笛パレード」の開会式が行われました。その後、上北町集会所から大町交差点までの1220mの区間、須二小を先頭に各校の鼓笛演奏が行われました。皆様方の温かい声援と大きな拍手ありがとうございました。



須二小運動会！「目指すゴールは 仲間とともに」

14日（土）2年ぶりに本校校庭で、多くの来賓の方々や保護者・地域の方々にお越しいただき盛大に運動会を実施することができました。

今年の運動会のスローガン「目指すゴールは 仲間とともに」（6年熊田愛永さん作）の通り、仲間とともに精一杯ゴールを目指して走る子どもたちの姿が印象的でした。また、審判・放送・準備・救護などの各係の5・6年生の子どもたちも、担当教師の指示を聞きながらきびきびと仕事をしていました。とりわけ小学校最後となる6年生の活躍ぶりは、素晴らしかったです。その姿は下級生の良き手本となっており、須二小の底力の源は6学年にあることを実感しました。

このような運動会が実施できたのは、子どもたちの頑張りはもちろんですが、温かな拍手と声援をおくってくださった来賓の皆様、地域・保護者の皆様、お手伝いをしてくださったPTAの役員、厚生給食委員会の皆様等々、たくさんのご協力があったからです。心から感謝申し上げます。



6年 面川 虎太郎

小学校最後の運動会が終わりました。ぼくは準備係で担当の先生方の指示に従い精一杯がんばりました。佐藤輝先生が、ぼくたちのために汗を流して働いている姿を見て心に火がつかしました。「輝先生を見習ってぼくも本気でやるぞ。」と心の中で叫んでいました。先生方は、ビショビショの校庭を整備してくれたり、朝早くからラインを引いてくれたりしてくれました。運動会は大成功！先生方とぼくたちの力の結晶です。大満足の運動会でした。

6年 高島 萌梨

私は、運動会での思い出が4つ作れました。

1つ目は、150メートル走のことです。上位3位には入れなかったけど、全力で走れたのでいい思い出になりました。2つ目は、ダービーのことです。紅組は2位と4位でしたが、紅組の5・6年生のみんなで力を合わせたので悔いのない種目になりました。

3つ目は、鼓笛のことです。「キセキ」の演そうと共にたいけい移動を行い、ちょっと難しかったけどいい演奏ができました。4つ目は、紅組の全校生が力を合わせ、優勝に導いたことです。

小学校最後の運動会は、いい思い出になり、また、悔いのない運動会になりよかったです。

6年 鈴木 遥菜

私の心に残っているのは鼓笛です。私はポンポンのリーダーとしてまちがえないように精一杯がんばりました。その理由は、小学校最後の運動会だということと、「先生方のかげの努力」に応えるためです。私にできることは、自分が精一杯がんばることだと思ったからです。

二小の伝統だからこそ一生けんめいに踊って、この「伝統」を汚したくなかったのです。これからも二小の顔としてがんばります。

※ 子どもたちの様子を随時須二小のホームページにアップしています。是非ご覧ください。